様式第２号（第１条関係）

**設計書**

その１（建築物の新築、改築、増築又は移転の場合）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 細目 | 申請の部分 | 既存の部分 | 合計 | 構　　　　　　　　造 | 階数 |
| 仮設の建築物地下に設ける建築物その他の建築物 | 新築改築増築移転 | 敷地面積 |  |  | (Ａ)㎡ | 木　　　　　造鉄　　骨　　造コンクリートブロック造鉄筋コンクリート造そ　　の　　他（　　　　） | １階２階その他(　　) |
| 建築面積 | ㎡(　　㎡) | (　　㎡) | (Ｂ)㎡(　　㎡) |
| 建ペイ率Ｂ／Ａ |  |  | ％ |
| 地下占用面積 | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 床面積の合計 | ㎡(　　㎡) | ㎡ | ㎡(　　㎡) | 屋　　　　　　　　　　　根 |
| かわらぶきスレートぶきその他(　　) |
| 最 高 の棟高 | ｍ(　　ｍ) | ｍ | ｍ(　　ｍ) |
| 側面線後退距離 | 道路側 | ｍ(　　ｍ) | ｍ(　　ｍ) |  | 外　　　　　　　　　　　壁 |
| 板　　　　張鉄　 板　 張モルタル塗しっくい塗その他(　　) |
| その他 | ｍ(　　ｍ) | ｍ(　　ｍ) |  |

　備考

　　１　「建築物の種別」、「構造」、「階数」、「屋根」及び「外壁」欄は、該当事項に〇印を付けること。この場合において、「その他」に〇印を付けた場合には括弧内に事項を具体的に記入すること。

　　２　「申請の部分」、「既存の部分」及び「合計」欄の括弧内には、滅失又は増改築前のものを記入すること。

　　３　「床面積の合計」欄は、同一の敷地内にある建築物の１階の床面積の合計を記入すること。

　　４　「側面線後退距離」欄は、最短部分の距離を記入すること。

　　５　位置図、配置図（縮尺50分の１から300分の１までの範囲内のもので、方位及び周辺の状況の判見するもの）、立面図（縮尺50分の１から300分の１までの範囲のもので２面以上の外観、意匠、色彩等を記入したもの）及び現況写真（行為地、その周辺及びその行為地の規模の状況により名刺判以上の大きさのもの）を添付すること。

　その２（工作物（建築物を除く。）の新築、改築、増築又は移転の場合）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 細目 | 申請の部分 | 既存の部分 | 合計 | 構造 | 屋根 | 外壁 |
| 仮設の建築物地下に設ける建築物その他の建築物 | 新築改築増築移転 | 敷地面積 | ㎡ | ㎡ | ㎡ | 木造鉄骨造鉄筋コンクリート造その他() | 鉄板張スレートぶきその他() | 板張鉄板張その他() |
| 地下占用面積 | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 床面積の合計 | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 最高の高さ | ｍ | ｍ | ｍ |
| 工作物の最少土かぶり | ｍ | ｍ | ｍ |

　備考

　　１　「種別」及び「床面積の合計」欄は、その１の備考１及び３を参照して記入すること。

　　２　その１の備考の５に掲げる書類及び写真を添付すること。

その３（建築物その他工作物の色彩の変更の場合）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種　　別 | 色彩変更部位 | 色彩変更面積 | 仕　　　　　様 |
| 建築物工作物() | 屋根 | ㎡ |  | 変　　更　　前 | 変　　更　　後 |
| 壁 | ㎡ | 材質 |  |  |
| 塀 | ㎡ | 色彩 |  |  |
| 広告板広告塔 | ㎡ | 隣　接　地　の　現　況 |
| その他() | ㎡ |  |

　備考

　　１　「種別」欄は、該当事項に○印を付けること。この場合において、「工作物」に○印を付けた場合には、括弧内に具体的な名称を記入すること。

　　２　「色彩変更部位」欄は、色彩の変更がある部位に○印を付け、「色彩変更面積」欄に面積を記入すること。この場合において、「その他」に○印を付けた場合には括弧内に部位を具体的に記入すること。

　　３　「仕様」欄は、色彩変更のある部位別に記入すること。

　　４　「隣接地の現況」欄には、林地、伐採跡地、草生地等の別及び建築物その他の工作物の有無を記入すること。

　　５　その１の備考５に掲げる書類及び写真を添付すること。ただし、立面図には、色彩の変更を行う部分のみ彩色すること。

　その４（宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更の場合）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 細　　　　　目 | 行　為場　所 | 建築物の敷地内建築物の敷地外 | 跡地の処理方法 |
| 宅地の造成土地の開墾その他 | 行為面積(Ａ) | ㎡ |  |
| 木竹の保全、植栽面積(Ｂ) | ㎡ |  |
| 緑地率(Ｂ)／(Ａ) | ％ |  |
| 移動土量 | 切土 | ｍ3 |  |
| 盛土 | ｍ3 | 隣接地の現況 |  |
| 客土 | ｍ3 |  |  |
| その他(　　) | ｍ3 |  |  |
| 生ずる法面の最高の高さ　 | ｍ |  |  |

　備考

　　１　「種別」及び「行為場所」欄は、該当事項に〇印を付けること。

　　２　「木竹の保全、植栽面積(Ｂ)」欄は、木竹の保全又は植栽が行われる面積の合計を記入すること。

　　３　「隣接地の現況」欄は、その３の備考４を参照して記入すること。

　　４　「跡地の処理方法」欄には、裸地、砂利舗装、埋戻しなどのように処理の方法を具体的に記入するとともに、法面がある場合には、法面についても芝付け、コンクリートブロック擁壁、放置などのように具体的に記入すること。

　　５　位置図、計画平面図（縮尺200分の１から800分の１までの程度のもの）、縦横断面（縮尺100分の１以上のもの）、構造図（縮尺50分の１から200分の１までの範囲内のもの）及び現況写真（行為地、その周辺及びその規模の状況により名刺判以上の大きさのもの）を添付すること。

その５（水面の埋立干拓の場合）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 細　　　　　　　　目 | 隣接地の現況 | 工事方法 | 跡地の処理方法 |
| 水面面積 | ㎡ |  |  |  |
| 埋立又は干拓面積 | ㎡ |

　備考

　　１　「隣接地の現況」及び「跡地の処理方法」欄は、その３の備考４及びその４の備考４を参照して記入すること。

　　２　その４の備考５に掲げる書類及び写真を添付すること。

　その６（木竹の伐採の場合）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 伐採区域面積 | ㎡ | 隣接地の現況 | 跡地の処理方法 |
| 針葉樹林広葉樹林針広混合樹林竹林その他 | 伐採量 | ｍ3 |  |  |
| 伐採方法 | 皆　　　　伐択伐　　　％その他(　　) |

　備考

　　１　「種別」欄は、該当事項に〇印を付けること。

　　２　択伐の率は、伐採区域における総材積に対する択伐量を記入すること。

　　３　「跡地の処理方法」欄は、植栽、放置等の別を記入すること。

　　４　位置図、計画平面図（縮尺300分の１から1000分の１までの範囲のもの）及び現況写真（行為地、その周辺及びその規模の状況により名刺判以上の大きさのもの）を添付すること。

その７（土石の類の採取の場合）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 細　　　　　　　　　　目 | 採取土石類の種類 |  | 跡地の処理方法 |
| 採取区域面積 | ㎡ |
|  |
| 採取によって生ずる最高法高 | ｍ |
| 採取量 | ｍ3 |
| 採取方法 | 露天掘その他() | 採取により生じた法面の処理方法 |  |

　備考

　　１　「跡地の処理方法」欄は、その４の備考４を参照して記入すること。

　　２　その４の備考５に掲げる書類及び写真を添付すること。

その８（屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種　　　　別 | 堆積面積 | ㎡ |
| 土　石廃棄物（）再生資源（） | 堆積物の高さ | ｍ |
| 隣接地の現況 |  |
| 植栽等による修景措置 |  |

　備考

　　１　「種別」欄は、該当事項に○印を付けること。この場合において、「廃棄物」又は「再生資源」に○印をつけた場合には、括弧内に具体的な品目を記入すること。

　　２　「堆積面積」欄は、堆積物の水平投影面積の合計を記入すること。

　　３　「堆積物の高さ」欄は、堆積物の最高の高さを記入すること。

　　４　「隣接地の現況」欄は、その３の備考４を参照して記入すること。

　　５　「植栽等による修景措置」欄は、具体的な修景方法を記入すること。